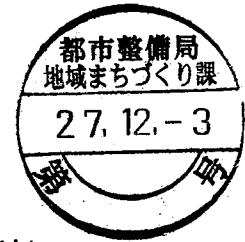


ヨコハマ市民まち普請事業

第二次整備提案書



※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1 整備提案の概要について

整備提案名	湧水を住民のいこいの場に！ 子どもたちに自然体験を！
提案グループ名	下和泉湧水を守る会
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	泉 区 下和泉4丁目
施設整備の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○既存の小川の上流部湿地への延長及び、地下水集水管の埋設、上流部湿地を貯水池へ改修、倒木・傾木の伐採 <ul style="list-style-type: none"> ・渇水期の対策として、湧水の水量を確保する整備を施し、1年を通じて絶えることのない湧水を復活する。 ○小川の土手の改修と安全柵の設置、小川の浅瀬化 <ul style="list-style-type: none"> ・湧水の小川と周辺を安全な空間にする。 ○遊歩道、広場、パーゴラ、小さな水遊び場、花壇等の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・住民、付近の保育園児やお年寄りなど、誰もが気軽に立ち寄り、憩い、楽しむことのできる場所を作る。 ○水汲み場の改修、新規導水施設の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・現在利用されている通称「水汲み場」を、濁り水の入らない仕組みとし、掃除のしやすさ、水の汲みやすさ等の向上をはかる。
整備助成金申請 予定額	500 万円
設計及び整備の スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月～5月 助成金額に応じた詳細設計 ・ 5月末 発注 ・ 5月～7月 施工準備 ・ 8月～3月 施工

2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<p>地権者を含む会員アンケートおよび町内全世帯アンケートを通じて、実際に利用する可能性の高い方々の期待や心配ごとを具体的に掴んだり、複数の専門家からの幅広い知見や市内の優れた先行事例見学等による学習から取り入れたり、また現地の状況をつぶさに観察したりすることによって、以下のような点について工夫し、計画した。(添付の計画図を参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全な水辺空間とすることを最優先に、誤って水にはまるなどの危険性をなくし、目の行き届く空間を実現するデザインとした。 ○同時に、今ある自然環境を生かしながら、より一層豊かな植物と水辺の小動物や小鳥・昆虫などの生息を促していくデザインとした。 ○大雨時に公道へとオーバーフローし路面を汚している大量の雨水を、新たな排水システムによって、湧水の小川へと合流させることとした。(土木事務所の指導により、流水が30cm以上の深さにならないようにしている。) ○「水汲み場」は現状の利用実体をつぶさに観察し、家庭菜園と連動して使用している方たちがより便利に使い、かつ清掃や環境整備がしやすいように、きめ細かい改善をデザインした。
--	--

<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>※ 詳細については、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域での労力負担力を上げるには会員の増強が欠かせない。一次審査申請時に16人であった会員は、個別の声かけ、アンケートに添付した呼びかけ、広報“せせらぎ”でのよびかけを通じて、清掃等の協力者を含め、現在では35人にまでなった。今後は、空間整備に絡めたイベントを活用して、さらに呼びかけをしていく。 ○これまでに行ってきたゴミの処理、住民の手に負える小ぶりな倒木や傾木の伐採、除草、小川の泥上げといった会員による環境維持活動には、周辺住民にも呼びかけている。作業に参加してもらうことが会員勧誘の近道である。 ○整備費を獲得できた際には、遊歩道作り、土留めの杭打ちや土の移動、水遊び場作り、休憩場の組み立てなどの整備作業を、関係業者の方々と相談しながら行う。
<p>整備した施設の維持管理・運営^{注5)}計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○整備する空間は、会が中心となって一般の人々の手によって維持管理ができるようにデザインしている。 ○「子どもの水生小動物との触れ合い」「お花見」「昔の遊び」「自然保護の勉強会」「新鮮野菜の即売会」などのイベントを企画しているが、同時にイベントの参加者が楽しく参加できる美化活動を組み込んだり、そうした機会をとらえてカンパを募ったりする。 ○近隣で家庭菜園をしている方々にも植物管理の技術を伝授していただいたり、草刈りや泥上げ作業に参加していただいたり、湧水周辺を日常的に目配りをしてもらえるように進める。

3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○整備する空間の地権者は3名であるが、3名とも「湧水の会」の会員になるとともに、2次コンテストへの整備計画にも概ね賛同いただいた。 ○中丸町内会全270世帯に対してアンケート調査を実施した。114世帯（42%）から回収でき、賛成69%、反対13%、どちらとも言えない18%であった。反対の主な理由は「自然環境に配慮し、整備しすぎないでほしい」というもので、目指す方向は一致しつつも本計画の具体的内容の周知不足が明らかとなった。 ○11月から会員向け広報“せせらぎ通信”を発行し、活動の周知や宣伝を始める運びとなった。 ○11月10日に泉土木事務所と協議を行い、基本的な技術・法律的課題をクリアする見通しが立った。地域住民間にも丁寧な説明と意見調整を行っていく。続いて南部公園緑地事務所と協議を行い、整備の目的はおおむね理解を得られた。今後現地踏査をしながら詳細な協議をする。
--	--

4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○湧水とそれを育む森等の周辺環境は、そのまま放置すると様々な問題を周辺地域に発生させている。立ち枯れた木や倒木、弦性植物などで被われた藪によって、見通しが悪く、防犯上の危険が増している。投棄されるゴミも再び増えている。湧水の水量が減少し、せせらぎには土が溜まって泥沼化し、20年ほど前までのように子どもたちが遊ぶ姿もなくなった。安全で魅力的な自然環境がさらに減少し、身近な里の自然と親しむ暮らしができなくなっている。住民は、この自然が失われつつあるという危機感を持っており、アンケート結果からも、整備と復活への心底からのニーズがあると考えられる。 ○湧水と森の環境の復活と憩いの広場の整備ができれば、このような不安が解消され、住民のだれもが生物の多様な自然を鑑賞したり、触れ合ったりすることができるとともに、様々なイベントを通して住民の出会いとコミュニケーションの場にすることができる。 ○この計画が実現すれば、泉区のみならず横浜市全体に対して、失われつつある湧水の復活強化の動きへの希望を与えることができると思われる。
--	--

5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施行業者への発注方法など)</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none">○設計の段階で、会員や住民ができる整備を基本とするデザインを施し、専門業者でなくても可能な作業を洗い出し、コストのかかる専門業者への依頼は必要最小限に抑える。<ul style="list-style-type: none">・小ぶりの倒木や傾木の伐採、藪やゴミの片づけ、広場の簡易舗装、花壇への花植などは、可能な限り会員や住民で行う。・テーブルや椅子は、廃材や伐採木を使い、会員や住民で手作りする。○以下のような整備工事の発注は、原則として複数の業者の見積もりを精査し、選択する。<p>大木の伐採、配管部分と小川の部分の土地の掘削、配管作業、遊歩道の整地と舗装、小川周辺の樹木の伐採整理と整地、小川の浅瀬化、小川の土留め、パーゴラの設置、広場や花壇の整備(基礎的な部分)、小さな水遊び場の整地、水汲み場に濁り水が入らないための改良。</p>
--	---

6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none">○整備がかなったあかつきには、会員や地域住民による清掃・草刈り・ドロ上げ・花壇作りなどの作業、子ども達の水生小動物の観察会・お花見会・やさい販売会・昔の遊びの会・ジャグリングの会、昆虫採集の会などのイベント、散歩途中での保育園児・高齢者・一般の人々の立ち寄りなどにより、身近なコミュニケーションのきっかけを生み出す。○自然と関わる活動を通して、町内会、学校、地区センター、福祉施設、他の近隣の緑や水辺を守る団体などとの連携を今以上に強め、協力関係を広げていく。○子どもたちとその若い親たち自らが、この空間の利用と維持活動への参加をすることを通じて、自然の大切さに気づき、地域の自然を守ろうとする気持ちを育てていく。
---	---

7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none">○大都会にある湧水は、守ろうとしなければ、いろいろな方向から追いつめられ、涸れ、消えていく危機にあります。「昔は年間絶え間なく湧き出していた泉が、今は夏になると涸れてしまう！」という声があちこちで聞かれます。「意識的に泉を守り、復活する活動をする。」ことがなければ、近い将来、消え去ってしまうことが危ぶまれます。○身近な環境に思いをかける担い手を育てるために、子どもたちや若い人たちが魅力とを感じるイベントを多く開催し、老いも若きも手を取り合って活動する人々の輪を広げて行きたいと考えます。○この整備は、一人ひとりの自然を愛する心に訴えることができるとともに、公共性と発展性のあるものです。まち普請事業の支援を是非いただき、力を合わせ取り組んで行きたいと思えます。
-------------------------------------	--

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

ヨコハマ市民まち普請事業

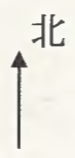
想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
設計・監理費	現地測量・設計 施工監理・指導	1式	500,000	500,000	測量助手は守る会が行う
樹林整備	①下草刈り(含広場) ②除伐工c30 ③伐採工c90~180	1,500m ² 20本程度 8本程度	0 0 37,500	0 0 300,000	①守る会が行う ②守る会が行う ③伐採後の集積場所への運搬等は守る会が行う
集水連結整備	①集水トレンチ ②農道横断連結管	24.0m 12.0m	15,375 38,000	369,000 456,000	
水路整備	①土水路 ②湧水路 ③既設小川整備 ④水遊び場 ⑤湿地	21.0m 15.6m 30.0m 1箇所 1箇所	2,760 25,200 26,700 0 0	57,960 393,120 801,000 0 0	④整備は守る会が行う ⑤残土を利用した整備は守る会が行う
水汲み場整備	①水門(w2.4m) ②管理用バイパス管 ③スノコデッキ	1箇所 3.2m 1式	256,400 20,625 74,150	256,400 66,000 74,150	③設置は守る会が行う
施設設置	①遊歩道 (土系舗装) ②パーゴラ ③安全ロープ柵 ④テーブルベンチ	40.0m 1基 30.0m 1式	5,150 1,150,000 0 0	206,000 1,150,000 0 0	①施工は守る会が行う ③・④ 現場発生材を使った加工組立て設置は守る会が行う
合計				4,629,630	
消費税				370,370	
合 計				5,000,000	

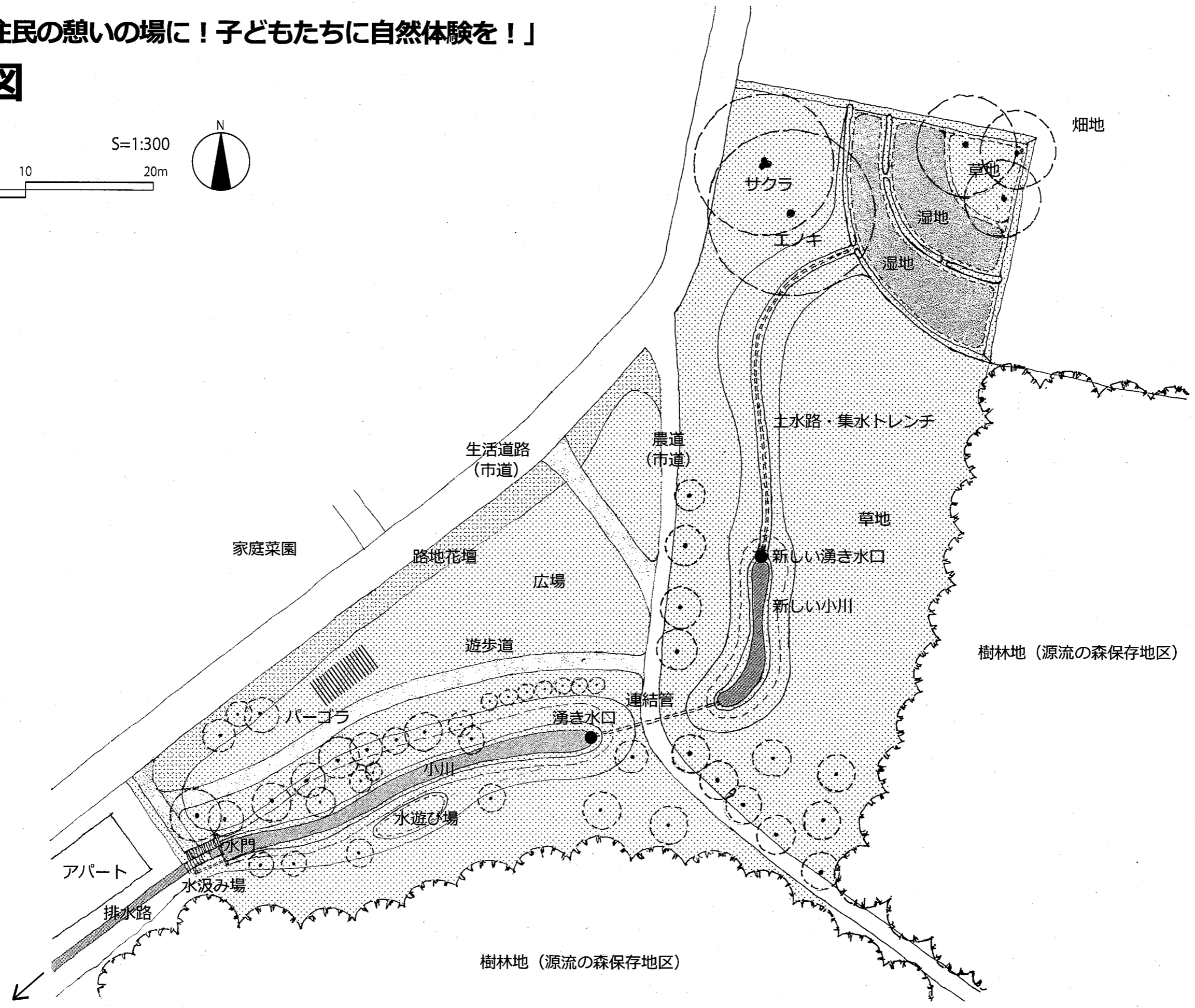
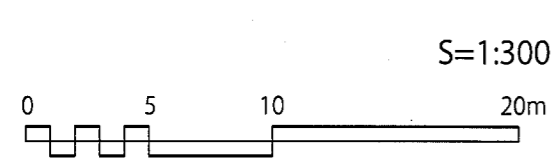
位置図



番号は連合町内会を示します。

「湧水を住民の憩いの場に！子どもたちに自然体験を！」

平面図



「湧水を住民の憩いの場に！
子どもたちに自然体験を！」

完成予想図



③路地花壇

かつて、ゴミの不法投棄を防止し沿道の美化に貢献してきた路地の花壇を継承し、更に散策する人の目を楽しめる場所として充実を図る。



⑤パーゴラ

地域住民や保育園児、お年寄りの散策の時に誰もが気軽に立ち寄り、休憩できる所として広場にパーゴラを設ける。パーゴラはフジやアケビなどのツル植物による「緑の天井」をつくる。「緑の天井」は日陰をつくり広場に集う人々に安らぎの「場」を提供する。



⑥湿地

大雨の時、北東の畑地から草地に流入する雨水を一時、貯留させ渇水期の維持用水に活用するために、低い土堤をめぐらせた湿地をつくる。雨水は地下にゆっくり浸透させ、下流の集水トレンチと湧水路で受けとめ湧水が溢れることを防ぐのに役立つ。



①小川

既存の小川を子どもの安全と生き物に配慮し整備する。流れの底面に土壌安定栓を敷設し、泥に足がとられないようにする。さらに水深の浅瀬化を図り、土手の水際に平場をつくり、安全ロープ柵を設置する。



②水遊び場

小川に沿った水際に小さな水遊び場を設ける。期日を限って、上流から湧水を導き安全な仮設の水辺空間をつくり、林間の水遊び場とする。水遊びの後の濁り水は浸透樹に流し、湧水を汚さないようにする。

④水汲み場

既存の小川の最下流部には、菜園の利用者が使用している水汲み場がある。水路の泥上げなどの維持管理活動の時に濁り水が水汲み場に入らない仕組みが必要である。既設のU型側溝を改良した水汲み場の上流側に堰板を付けた水門を設置する。水位を下げた時に水汲みができるように、U型側溝の中に水舟（プール）を設ける。水舟の隣には開閉できる堰板を取付け、小川の水位を調整できるものとする。堰からの水はバイパス管から下流の既設排水路に接続させる。バイパス管は水汲み場としているU型側溝の脇に沿って敷設する。



⑦土水路・集水トレンチ

降雨時には、畑地と東側樹林地からの雨水は、地表面を移動し西側の生活道路に流出し、道路が汚れ安全面でも課題となっている。雨水が道路に流れださないように、土水路を設ける。土水路は降雨時に雨水を受けとめ「新しい小川」に導水させる。土水路の下部には、集水トレンチを設け地下水を「新しい小川」に導水する。



⑧新しい小川

既存の小川につながる水辺空間を上流部に設ける。上流からの地下水を湧出させ、地表面の雨水をも受けとめる「新しい小川」をつくる。下流には農道の下を横断する連結管を設け、既存の小川との一体化を図る。

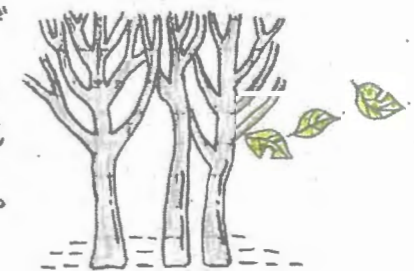
その他の添付資料

「下和泉湧水を守る会」の活動状況報告 2015.12.3
下和泉湧水を守る会

2014年11月	「下和泉湧水を守る会準備会」発足 会員12名
2015年2月	第1回会員作業（湧水周辺のゴミ拾いと藪払い 参加人数3名）
2015年3月	第2回会員作業（湧水周辺のゴミ拾いと藪払い 参加人数3名）
2015年4月	第3回会員作業（湧水周辺のゴミ拾いと藪払い 参加人数4名）
2015年5月	第4回会員作業（湧水周辺のゴミ拾いと藪払い 参加人数4名） 地権者3名全員が当会に入会
2015年6月	第5回会員作業（湧水周辺のゴミ拾いと花壇の草刈り 参加人数5名） まち普請事業コンテスト応募決定
2015年7月	第6回会員作業（湧水周辺の藪払いと花壇の草刈り 参加人数5名） まち普請事業1次コンテスト（参加6名）通過
2015年8月	第7回会員作業（湧水周辺の藪払い草刈り 参加人数4名） 南部公園緑地事務所との協議
2015年9月	第8回会員作業（湧水周辺の藪払い草刈り・地下水観測のための井戸掘り、参加人数6名） 専門家による地形の簡易測量（計3回） 活動懇談会・企業マッチング会参加（参加4名）
2015年10月	第9回会員作業（湧水周辺の藪払い草刈り 参加人数5名） 専門家による地形の簡易測量（計4回） 泉区土木事務所・区役所と2次コンテスト整備提案内容の協議。 会員向けと町内会向けのアンケート実施
2015年11月	第10回会員作業（湧水周辺のゴミの片づけ 参加人数2名） 南部公園緑地事務所との協議 アンケート集計 会員向け広報「せせらぎ通信」1号を発行
2015年12月	2次コンテスト提案書提出
2016年1月	2次コンテスト
2016年2月	
2016年3月	
2016年4月	



秋も深まって参りました。会員の皆さま いかがお過ごしでしょうか？
ようやく、湧き水を守る会のおたより『せせらぎ通信』を発行する運びとなりました。
先日、町内会にご協力を頂き 実施したアンケートの集計結果が出ました。おおむね賛成の意向と貴重なご意見を多数頂きました。（詳しくは、アンケート集計をご覧ください。） また、市・区役所や土木事務所の方々との話し合いがもたれ、湧き水を守る会からの整備計画について協議して頂きました。森の景観は維持しつつ、安全に十分配慮した、誰もが気軽に森や湧き水に親しむことができる憩いの場作りと、多様な動植物が生息できる環境作りを、会員の皆さまと共に目指していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



「今後の予定」

- 15.12.8(木) 9:30~11:30
森の整備...ご協力頂ける方 直接湧き水の森にお集まり下さい。(雨天中止)
- 16.1.15(金) 二次コンテスト審査員による現地見学
- 16.1.31(日) 二次コンテスト

会員募集中!!
現在会員数 35名

「タウン誌に掲載されました!!」

下和泉湧き水を守る会
〈問い合わせ〉 滝川 045-390-0876
松尾 070-2166-4747

「湧き水の保全と周辺整備に関するアンケート」集計結果

お忙しい中でアンケートへのご協力有難うございました。貴重な資料が得られています。よく分析をし、今後の活動に生かして行きたいと思えます。

- ・回集114部(270世帯配布)(回収率42%)
- ・賛成者(4設問に賛成の人)79人(69%)
- ・反対者(4設問に反対の人)15人(13%)
- ・どちらとも言えない(4設問に「どちらとも言えない」の人)20人(18%)

★特記すべき事項と記述された内容

- 新しいボランティア参加希望者 12人
- 家庭菜園関係者の反対 8人
- 町内会での議論無しでの決定に反対 1人
- 若い人が引き継いでくれるか疑問 1人
- 町内会の年2回の清掃でも整備をするとよい 1人
- 整備しすぎず、自然の感じを残してほしい 1人
- 座れる場所がほしい。休憩場所が欲しい 2人
- 蔭ながら応援 1人
- 公園に犬ネコの糞が多い、きちんとした対策を1人
- 町民の多くの方が自然を大切にするように 1人
- 湧水が未永く涸れないように、整備をしてほしい 1人
- バーベキューができればいいな 1人
- 子どもが安全に遊べる場所に 1人
- 自然をこわさないで 3人
- 以前から、先輩の有志や周辺の耕作者が自然を守り、自然と共存してきた。 1人
- 整備が始まってから、鳥や虫等の生物が減ったようだ。あまり自然に手を加えない方がよい。 1人
- この近辺で人間の手を入れてない森はここだけ。大事に大事に育てよう。 1人
- 湧水を自由に汲める場所があれば、嬉しいです。ルールを作って。 1人
- 一部の人が私有化することなく、大勢の人たちが訪れる、そんな場所になるように。 1人

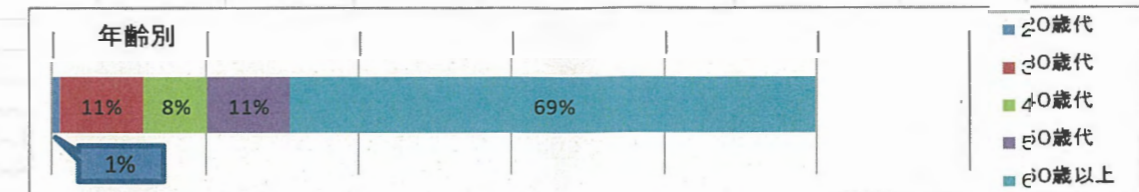
★記述の内容の生かし方

記述された方は全部で24名ありました。賛成反対に関わらず、すべて湧き水と森への思いが伝わるものです。いずれも意味深いものですので、今後の活動に取り上げて行きたいと思えます。

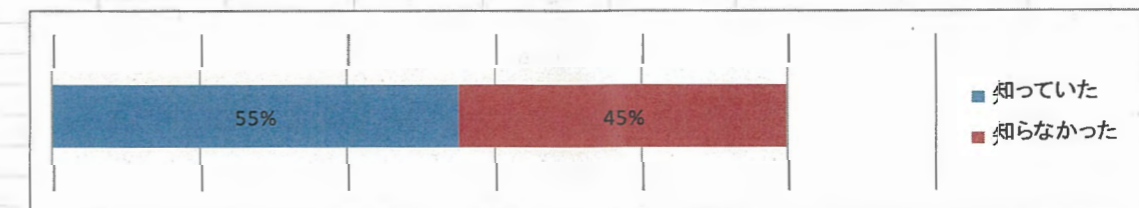
「活動に具体的に協力できる」と答えた方が12名おりました。会員一同たいへん励まされ、勇気付けられております。

「湧き水の保全と周辺整備」についてのアンケート結果 【配布270世帯 回収114世帯 回収率42%】

1. あなたの性別と年齢を教えてください。(性別は103名、年齢別は109名の回答)

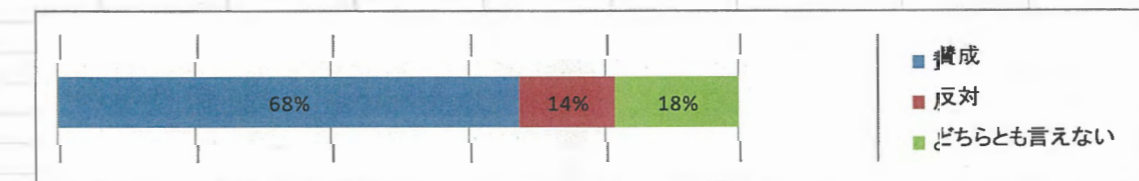


2. この湧水を知っていましたか?(107名の回答)

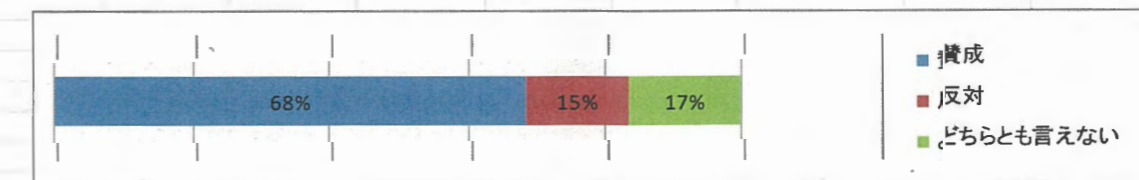


3. 私たちは、この場所を次のようにしたいと考えていますが、どう思いますか?

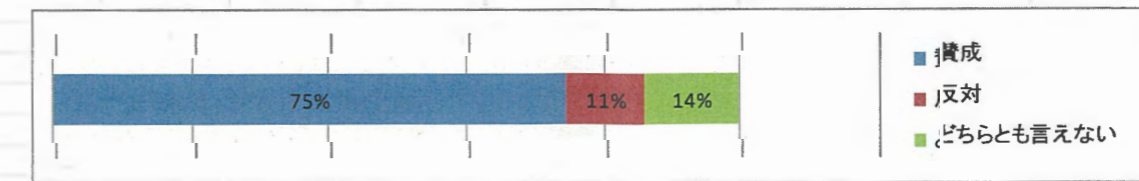
①湧水が、これからも存続しづけるようにする。(114名の回答)



②カエル、ドジョウ、ホタルなどがすむ、せせらぎを復活させる。(114名の回答)



③水辺に低い柵を設けたり、周辺の森の見通しをよくし、安全な場所にする。(114名の回答)



④だれもが気軽に立ち寄れ、人々がいこえる場を整備する。(113名の回答)

